



に がつき  
二学期がスタートしました。

すこ 少 ずつ 秋の 気配 を 感じる よう になり、本を 読む のに とても よい 季節 になりました。

あたら 新 しい本も たくさん 入って きたので、いろいろな お話 に 慣れて みて ください ね。

## あたら 新 しい本を しょうかい します



ポプラ社

『ねこいる!』 たなか ひかる 作  
ねこがいるのか、いないのか、ただそれだけ!  
おも 思わぬところからねこが飛び出し、笑いのツボを刺激します。



ポプラ社

『かみなり』 せのお けんいちろう かんしゅう 妹尾 堅一郎 監修  
こわい?きれい?  
かみなりの正体ってなんだろう?



小峰書店

『へんてこはやくちことば』 あらい ひろゆき 新井 洋行 作  
マークにまつわる楽しいはやくちことばがたくさん登場!!  
かま ず に 言えるか ちょうせん しよう!!



あかね書房

『フルーツふれんず スイカちゃん』  
むらかみ 村上 しいこ さく 作 かど ひろみ え 角 裕美 絵  
かお 顔が大きなスイカちゃんは、顔が小さくてかわいいイチゴちゃん  
みた い にな りたい。個性豊かなフルーツ小学生が、なやんで考え  
が んば ります。



ぼうさいげっかん ぼうさい  
9月は防災月間! 防災クイズにちょうせん

こたへは がっこうとしよかん  
答えは学校図書館の  
本を 読んで みて ね!!

1,じしんがおきたら、まず、  
どうする?



『じしん・つなみどうするの?』  
金の星社

2,外であそんでいたら、とつぜん  
かみなり!  
さあ、どこににげる?



『防災・防犯シミュレーション』  
ほるぷ出版

2023年

じゅうごや  
9月29日は十五夜！  
よ  
お月さまの本を読んでみよう！



むかし(旧 曆がつかわれていたころ)は、7月から9月までが「秋」とされており、まんなかにあたる8月は「中 秋」とよばれました。この月の15日(十五夜)の夜にでるお月様は「中 秋の名月」といわれ、収穫を祝ってお供えをし、月見をする風習がありました。これは平安時代に中国から伝わり、しだいに広まっていきました。

秋の収穫が始まるころともかさなり、「お月見」の行事には、収穫祭の意味もこめられています。現在では、9月後半から10月の初めごろにあたります。

「和」の行事えほん 秋と冬の巻 高野 紀子 作 あすなろ書房 より

### 『お月さんは きつねがすき？』

かみさわ りし さく いのうえ ようすけ え  
神沢 利子 作 井上 洋介 絵



ポプラ社

月にそなえる花をとりにいったウーフは、キツネのツネタ兄 弟に会いました。ツネタは、お月さんはコロケのほうがすきだといいます。

### 『つきのうさぎ』

にほん 日本むかしばなし いもと ようこ ぶん え  
日本むかしばなし いもと ようこ 文・絵



金の星社

どうして月にうさぎがいるの？  
じゅうごや 十五夜のゆらいがわかる絵本です。

### 『おつきみうさぎ』

なかがわ ひろたか ぶん むらかみ やすなり え  
中川 ひろたか 文 村上 康成 絵

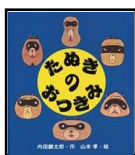


童心社

きょう 今日はお月見。野原ですすきを取っていたみんなは  
ふしぎなうさぎを見つけてつれて帰り…。

### 『たぬきのおつきみ』

うちだ りんたろう さく やまもと たかし え  
内田 麟太郎 作 山本 孝 絵



岩崎書店

あき 秋になって稲穂が実り、野菜もたくさんとれました。  
それを喜ぶ村人たち。山のたぬきも大喜びです。さあ、  
きょう 今日はお月見。お月さまは喜んでくれるでしょうか。